



真室川空襲の真実に迫る！

井上涼月・佐藤杏奈・高橋那槻・高橋晴琉・高橋陽花（山形県立新庄北高等学校定時制）

1 はじめに

1945(昭和20)年8月10日、最上地域は空襲を受け、真室川飛行場付近に暮らしていた松沢きみえさんの家では10人家族のうち、6人が犠牲になりました。

飛行場があった場所は格納庫跡や軍用地の境界を示す境界杭が残る程度になっています。このわずかな痕跡から真室川飛行場が空襲を受けた理由や空襲時の飛行場の様子を把握することは難しいため、私たちは史資料から空襲の実態を研究しました。



2 研究の概要

最初に真室川飛行場跡についての動画を視聴しました。この動画を作られた秋田県のこたにあきらは空襲を受けた松沢さんの家を見ながら「なぜあの家がねらわれたんだろう？」と疑問を呈します。真室川空襲の被害については調査・研究がされていますが、「民家がねらわれた理由」は明らかにされていません。以下に述べるのは、このことについての考察です。

3 仮説・民家がねらわれた理由

『真室川町史』や『新庄市史』に掲載されている空襲体験者の証言です。

『真室川町史』 佐藤佐重さんの証言

…米軍機の攻撃目標は飛行場の破壊と、その付近に隠してあった練習機(通称赤トンボ)とその燃料や軍需物資の保管倉庫や工場…
…午後からの空襲は爆弾の投下と機銃掃射、それに焼夷弾が投下されたのか、午前中と違って火の手も上がっている。
さらに、飛行場付近は散在して隠されていた練習機(赤トンボ)や、野積みされていた燃料と付近の民家からも火の手が上がり、…

『新庄市史』 昭和地区の人の証言

…午前九時ごろに敵艦載機数機、真室川飛行場を爆撃、ために昭和地区に遮蔽中の友軍飛行機十数機敵弾のため煙焼…
…午後三時ごろ再び飛来、しかも昭和部落をば波状攻撃したので、人々を戦場の思いにおののかせたのであった。

私たちは証言の中の真室川飛行場の付近や昭和地区(住宅地)に日本軍が飛行機を隠していたという点に注目し、「日本軍が住宅地に飛行機を隠していたために、民家がねらわれたのではないか」という仮説を立て、検証を進めました。

4 仮説検証・隠されていた飛行機

仮説を裏付ける史資料を探してみたところ、2018年8月12日付の『毎日新聞』の記事を見つけることができました。次の資料はその抜粋です。

1945年8月9、10日に東北各地の軍事施設などが狙われた空襲で、攻撃を担った米海軍第38任務部隊が、上空からの発見を免れようと日本軍が飛行場を田や住宅地のように偽装したり、戦闘機を林の中に隠したりしていた工作を見破り、空爆したとする報告書が見つかった。…

記事にある報告書は「国立国会図書館デジタルコレクション」で閲覧することができました。報告書には写真が添付されたものがありましたが、写真には飛行場付近の民家や林の近くに隠された飛行機が写っていました。

写真1



Photograph Number One included on this page shows a plane fired in small grove near Mamurogawa airfield.
「このページの写真1は真室川飛行場近くの林の中で爆撃された飛行機を示す。」と説明があります。

写真2

Photograph Number Two shows two heavily camouflaged single engined planes west Northwest of the field.
「写真2は飛行場の西北西で2機の単発エンジンの飛行機が巧妙に偽装されていたことを示す。」と説明があります。



写真3

Photograph Number Three shows pine grove northeast of the field in which are seen many hidden planes(Indicated by arrows).
「写真3は飛行場の北東の松林の中に多くの飛行機が隠されていたことを示す(矢印の通り)」と説明があります。



私たちはこれらの写真から飛行機が隠された場所を特定できるのではないかと考えました。

5 分析・隠された飛行機と空襲を受けた民家の位置



Google Earthを活用して、飛行場の西北西と北東の地形を分析したところ、写真3の場所を特定することができました。

左の画像の黄色の枠内が写真3の場所です。この部分を拡大し、写真3の角度に回転させると、地形が一致します。



空襲を受けた松沢さんの家は飛行場の北東に位置していますが、報告書の写真とGoogle Earthの画像を照合すると松沢さんの家がある住宅地付近に飛行機が隠されています。真室川空襲で民家がねらわれた理由は、「日本軍が住宅地に飛行機を隠していたため」だったのです。

6 おわりに

当時の人々の証言、新資料の検証、ICTを活用した分析によって真室川空襲の真実を明らかにすることができました。私たちは研究に取り組んだことで、真室川空襲は国民の命よりも兵器を守ろうとした日本軍が招いた人災であったと考えるようになりました。真室川飛行場では特攻隊の訓練も行われていることから、飛行場跡は戦争において「命の軽視」が行われたことを示す史跡であると言えます。真室川飛行場跡を残し、命と平和の大切さを伝えるために本研究の発表活動に取り組んでいきたいと思ひます。

7 参考文献

真室川町教育委員会 真室川スタディツアー『学びのしおり』2019年
真室川町史編集委員会『真室川町史』1997年
新庄市史編集委員会『新庄市史』第5巻1993年
米軍 日本軍の偽装見破り東北の軍事施設を空襲『毎日新聞』2018年8月12日
国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/> 国立国会図書館 (2025.1.14)
こたにあきら 2022年10月14日(金) 真室川飛行場跡地～戦争遺跡 <https://youtu.be/zQ3ka-Va2gc> (2024.12.16)